

(7) クラシス株式会社

ア. 会社概要

昭和 21 年に創業、昭和 39 年に会社を設立し、製材、プレカット加工、住宅設備・内装工事等を行っている。

製材に関しては、スギ、ベイマツを主な原料に、年間 3,000 m³ほど生産している。

プレカット加工については、月あたり約 30 棟の加工を行っている。この他増改築等リフォーム用の加工も行っている。

イ. 合法性の証明に関して

合法性の確認を、調達するすべての木材製品に求めている。合法性の証明について、国産材は、県産材、県外材とも容易である。外材の合法性証明は、ベイマツ、ラジアタパインについては容易であるが、南洋材、北洋材については、時間がかかることがある。外材については、FSC 又は PEFC の認証材を調達するように努めている。

「ふくい柱プレゼント事業」を利用した住宅の新設とリフォームの需要を見逃せないこともあり、この点からも合法性証明は重要である。

丸太への「合法木材マーク」の表示は、分かりやすくて良いが、すでに書類で確認する作業を続けているので、表示がなくても困るようなことはない。

ウ. 「合法木材マーク」の表示等について

加工したプレカット部材の内、梁等ある程度の断面がある部材については毎本、細かい部材については、こん包ごとに「合法木材マーク」を表示した。クラシス社では、「合法木材マーク」の貼付は、コスト・手間の負担を感じていないので、コストの算定の対象としていない。



写真 2 (7) 1 プレカット部材の表示

一般の大工・工務店の、合法木材についての認識はみられなかった。大工・工務店に、合法木材について説明しても、「合法木材マーク」が貼付されている木材は合法材で、「合法木材マーク」が貼付されていない木材は違法材との極端な理解となり、「これまでマークがついていなかったということ

は、我々におかしな木材を掴ませていたのか」と、くっつかかる業者もいて、説明するのに苦慮する。合法木材の活動については、大工・工務店の理解を広く得るか、そうでなければ、山元からプレカット加工までの範囲にとどめるのも、活動方法の一つである。